

投 信 概 況 (2025 年 9 月)

2025 年 10 月

モニタリング&エバリュエーションチーム

藤原 崇幸

本稿では、ETF を除く国内籍公募追加型株式投資信託について資金動向をまとめた。図表 1 に純資産総額と純流
出入額の直近 1 年間の推移、図表 2 に当月（2025 年 9 月）の GW 大分類別資金動向、図表 3 a に GW 大分
類別の純資産総額シェア、図表 3b に当月の GW 大分類別純流出入額を示す。

なお、本稿で示す純流出入額のうち、当月分は当社の推計値、その他の月は投資信託協会の公表値を使用した。

～当月の純流入額は 5 ヶ月ぶりに 1 兆円台を回復、純資産総額は 159 兆円と過去最高を更新～

当月を振り返ると、日米の中央銀行では FOMC が 6 会合ぶりの利下げに踏み切り、日銀は保有する ETF の売却
方針を示した。このような中、日米の株式市場は堅調に推移し、S&P500 は前月末比で 220 ポイント超上昇し、
TOPIX も 60 ポイント超の上昇となった。良好な市場環境の中、当月末のファンド全体の純資産総額は、前月末から
5 兆 6,817 億円増加し、過去最高を更新、159 兆 1,251 億円となった。また、当月の資金フローは 28 ヶ月連続
の純流入で、純流入額が 1 兆 3,346 億円となり、5 ヶ月ぶりに 1 兆円台を回復した。日米の金融政策の行方や国
際情勢の不透明感などの影響もあって、ここ数ヶ月続いていた資金フローの低迷はいったん持ち直した。

資金動向を GW 大分類別¹に見ると、国内外の株式を中心に純資産総額は前月から大幅な増加となった。最も
増加額が大きかったのは「グローバル株式（ヘッジなし）」で、純資産総額は 3 兆 7,876 億円増の 89 兆 6,936 億
円であった。また、純資産総額の増加率が最も高かった「コモディティ」は 4,293 億円増の 2 兆 2,513 億円となり、
2024 年 12 月以降 10 ヶ月連続で純資産総額が増加している。

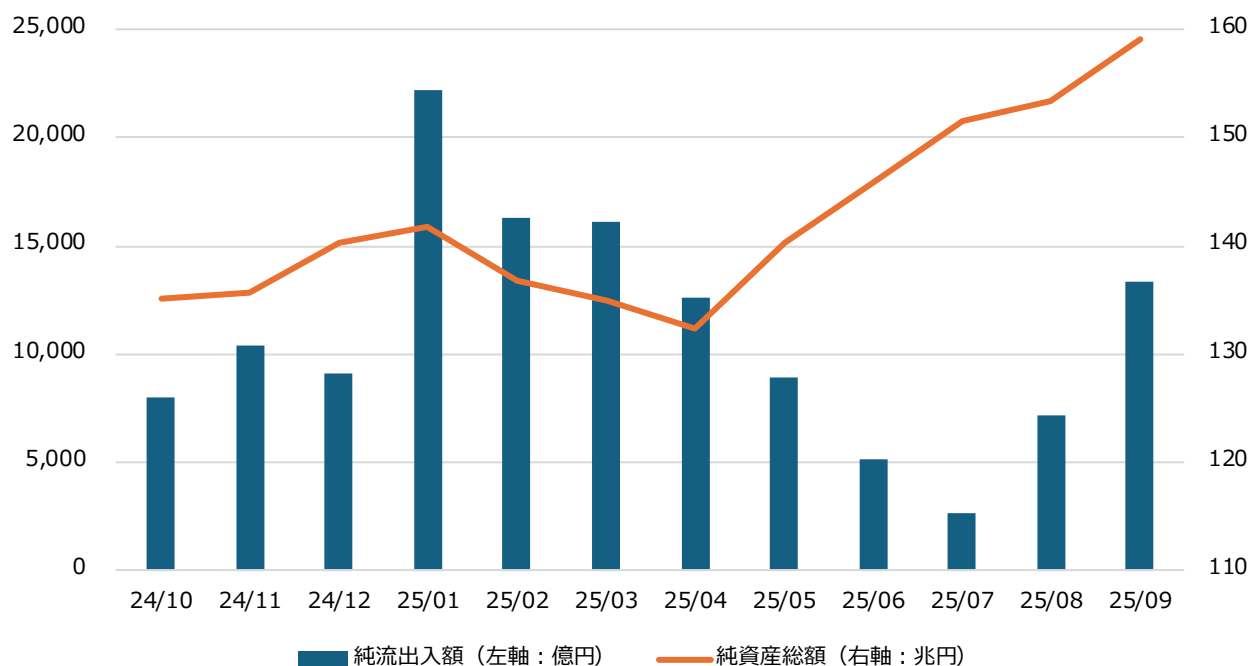
純流出入額でも「グローバル株式（ヘッジなし）」が 63 ヶ月連続の純流入と相対的に好調を保ち、当月の純流入
額は 9,750 億円であった。「グローバル株式（ヘッジなし）」をさらに細分化した集計では、インデックスファンドへ
6,190 億円の純流入と分類内で相対的に高水準の流入が続いているが、主に先進国に投資するアクティブファンドへ
も高水準の純流入がみられた。また、株式や債券など複数の資産クラスに分散して投資する「複合」に 1,669 億円、
「コモディティ」に 1,483 億円の純流入がみられた。

当月の個別ファンドの資金流入ランキングをみると、常連となっているインデックスファンドのほか、電力需要の拡大や
電力市場の変革で恩恵を受ける株式に投資するファンドや割安度に着目した株式ファンドへの純流入も目立った。

¹ SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティングが独自に定めたファンド分類のこと。すべての国内籍追加型株式投
資信託を対象とし、目論見書の記載事項をベースに、投資対象、投資地域、運用方針、投資手法に着目して分類を行っている。

【SGIC リサーチレビュー】

図表 1 純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

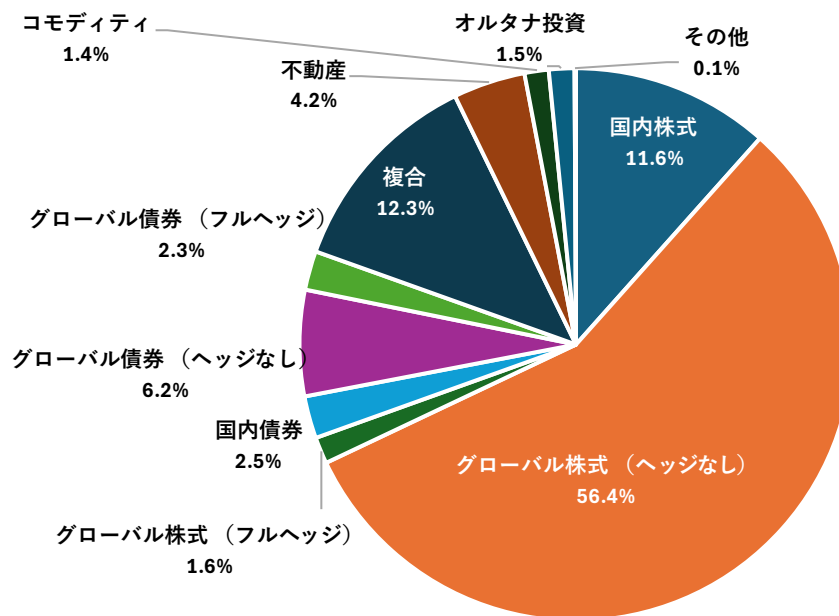
図表 2 2025 年 9 月の GW 大分類別資金動向（億円）

GW大分類	純資産総額				純流出入額
	25/08末	25/09末	増減額	増減率	25/09
国内株式	179,043	184,438	5,394	3.01%	-70
グローバル株式（ヘッジなし）	859,060	896,936	37,876	4.41%	9,750
グローバル株式（フルヘッジ）	24,609	24,741	133	0.54%	-265
国内債券	39,171	39,387	216	0.55%	218
グローバル債券（ヘッジなし）	96,921	98,701	1,780	1.84%	217
グローバル債券（フルヘッジ）	35,859	36,311	452	1.26%	405
複合	190,380	196,078	5,698	2.99%	1,669
不動産	66,870	67,089	219	0.33%	-29
コモディティ	18,220	22,513	4,293	23.56%	1,483
オルタナ投資	23,004	23,737	733	3.19%	-18
その他	1,299	1,320	21	1.65%	-14
合計	1,534,435	1,591,251	56,817	3.70%	13,346

（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

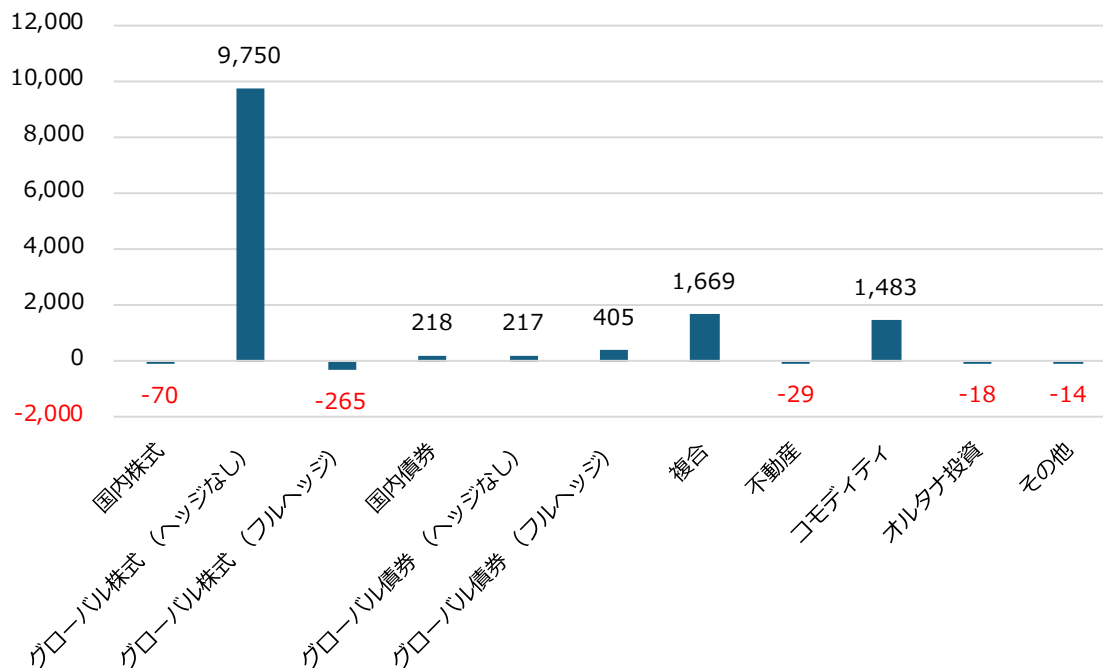
【SGIC リサーチレビュー】

図表 3 a GW 大分類別の純資産総額シェア（2025 年 9 月末基準）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

図表 3 b 2025 年 9 月の GW 大分類別純流出入額（億円）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

Appendix

図表 I GW 大分類別の純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準、億円）



(出所) 投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

【SGIC リサーチレビュー】

図表Ⅱ 2025 年 9 月の純流入ランキング 10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA	
					つみたて	成長
1	eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）	三菱UFJアセット	75,860	2,048	○	○
2	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	インベスコ	26,655	1,652		
3	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	三菱UFJアセット	85,858	1,146	○	○
4	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）	フィデリティ	4,726	738		
5	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ	5,465	532		○
6	外国株式SMTBセクション（SMA専用）	三井住友トラスト	3,995	515		○
7	国内債券SMTBセクション（SMA専用）	三井住友トラスト	3,425	480		
8	iFreeNext FANG+インデックス	大和アセット	8,366	457	○	○
9	ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド（為替ヘッジなし）	三井住友DS	2,629	375		○
10	ドナルド・スミス グローバル・ディープバリュー戦略株式ファンド	三井住友DS	371	366		○

（出所）投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

図表Ⅲ 2025 年 9 月の純流出ランキング 10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA	
					つみたて	成長
1	SMBCファンドラップ・米国株	三井住友DS	2,752	-172		
2	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	アセットOne	10,862	-159		○
3	グローバル・エクスポネンシャル・イノベーション・ファンド	アモーヴァ	3,278	-145		○
4	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	9,069	-143		○
5	SMBCファンドラップ・日本バリュー株	三井住友DS	3,234	-132		
6	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	アモーヴァ	4,035	-130		○
7	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド	アモーヴァ	3,037	-125		○
8	半導体関連 世界株式戦略ファンド	三井住友トラスト	2,441	-108		○
9	楽天日本株4. 3倍ブル	楽天	467	-103		
10	世界半導体関連フォーカスファンド	SBI岡三	1,447	-99		○

（出所）投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

（END）

本資料について

【免責事項】本資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社(以下「SGIC」といいます)が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります。本資料は SGIC の著作物です。ただし、本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属し、SGIC による当該指数等の使用について当該開発元または公表元は一切責任を負いません。詳細は <https://www.smbc-gic.co.jp> でご参照いただけます。投資に関する最終的なご判断は、お客さまご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、本資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来の結果を約束するものではありません。

【SGIC が行う金融商品取引業に係る留意事項】 SGIC は投資一任業務及び投資助言業務を営んでいます。SGIC が、投資一任契約に基づき投資する及び投資顧問契約に基づき助言を行う金融商品または金融派生商品は、金利・通貨の価格・金融商品市場における相場その他の指標の変動により損失が生じる恐れがあります。

変動要因としては、有価証券等の価格変動リスク、金利や金融市場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない流動性リスク、有価証券等の発行体の信用リスク等、及び外貨建て資産に投資している場合には為替変動リスクがあります。したがってお客さまの投資元本は保証されているものではなく、金融商品等の価値の下落により、投資元本を割り込むことがあります。

投資顧問契約及び投資一任契約に対する報酬(投資顧問報酬)は総契約資産額等に対して最大年率 0.880%(税込)、契約に基づき成功報酬が発生する場合があります。また、お客さまがご購入いただく金融商品において手数料や間接的に負担する費用等が発生する場合がありますが、これらについては、お客さまとの契約内容によって異なりますので、事前に表示することができません。

投資顧問契約等を締結される際には、事前に契約締結前交付書面等をよくご覧下さい。

商号等 SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第449号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会